

令和5年第1四半期（1月から3月まで）の火災状況について（簡易版）

★火災件数は1, 177件でした（前年より43件増加）。

★火災による死者（自殺行為による死者を除く）は32人（前年より7人減少）で、そのうち65歳以上の高齢者は22人でした。

★火災による負傷者は201人（前年より19人減少）で、そのうち65歳以上の高齢者は63人（前年より30人減少）でした。

★主な出火原因の上位3位は、「たばこ」が179件と最も多く、次いで「放火（疑い含む）」が178件、「ガステーブル等」が104件でした。

～令和5年第1四半期（1月から3月まで）の火災の特徴について～

★住宅火災は513件発生し、前年同期の491件より22件増加しており、最近5年間では最も多い。

★住宅火災の発火源別件数をみると、上位から「ガステーブル」、「たばこ」、「電気ストーブ」、「放火」の順となっている。

★住宅火災の出火場所別件数をみると、居住関係で発生した火災が428件となっており、全体の8割以上を占める。